

ナース★アクション 2026 秋 文科省・厚労省交渉について（概要報告）

■2026 年 9 月 3 日(木)11 時～12 時 於：参議院議員会館 白川容子議員秘書同席

「高等教育修学支援新制度の改善と看護師等養成所および看護学生への支援の拡充を求める要望書」に基づき意見交換を行った。要望は、①高等教育修学支援新制度の改善、②看護師等養成所への支援拡充、③看護学生への経済的支援の 3 分野、16 項目。

➡要請書 <https://kirarikango.com/news/news-8092/>

当日は、民医連看護学校教職員・全日本民医連看護理事・看護委員をはじめ、オンラインでも全国から 50 人以上が参加。看護学生 1,364 人へのアンケート調査結果や教育現場の実態を示しながら、看護職養成を「地域医療を支える社会基盤」として国が支援することを求めた。特に、学生の経済的困窮、臨地実習に伴う交通費等の負担、看護学校の経営困難と閉校が相次ぐ危機的な事態について訴えた。

1. 文部科学省とのやりとり

- **機関要件^{*}の廃止について** ※私立学校の設立法人が「3 年間赤字決算」「定員 8 割に満たない」「多額の借金」がある場合は本制度の確認校となれず、学生は新制度を使えない。文科省も「厳しすぎる要件という声をたくさんいただいている」と答弁。

文科省は、機関要件について「公費なので必要なもの」との認識を繰り返した。一方、コロナ禍以降経営悪化している医療法人等が設置する専門学校については、「やむを得ない事情」がある場合、一定期間、機関要件を満たしているものとして都道府県知事が扱う猶予の仕組みがあると。全日本民医連からは給付型奨学金は本来学生個人への学びの支援であり、学校を介さない制度新設を要望。

- **予算の不用額活用を** (ex. 令和 5 年度では 2,221 億円が不用額として残った)
令和 7 年度の修学支援新制度の執行率は 6 割から約 8 割まで改善したと回答。一方で、依然として不用額が生じていることも認め、支援制度の周知・充実に取り組むと説明。
- **看護系学部にも支援拡大を**
理工農学部については対象拡大されたが、看護系は含まれていない事への政府方針や有識者会議での検討経緯が説明され、物価上昇下でのさらなる負担軽減について「検討を進める」との回答がありました。
- **学業要件については生活背景も勘案した対応を**
原級留置(留年)等による修学支援停止については制度趣旨から学業要件を設けているとの説明。但し、災害など「やむを得ない事情」がある場合には、状況を勘案して支援を継続できる場合があると。
- **社会人の学び直しについて**
高校卒業後の進学時期について、令和 8 年度から、災害等のやむを得ない事情により 2 年以内に進学できなかった場合は、4 年以内まで延長できる制度改正が行われたとの説明。社会人のリスキリングについては、現在の修学支援新制度とは目的・制度が異なると回答。

2. 厚生労働省とのやりとり

- **看護師等養成所運営補助金について**

前年度に基準額が約 10%増額されたことについては、10 年ぶりの改善があったことを確認。一方、改善後も執行していない都道府県が多数を占めており、国からの指導と地域間格差是正を強く求めた。

- **2040 年に向けた看護師養成について**

「空白地域をつくらない」ことを基本に、統廃合・集約化がすべての地域に適するわけではないとの認識が厚労省から示された。遠隔授業等も含め、地域の実情を踏まえた方策を引き続き検討すると説明。

- **看護学生への支援について**

都道府県による修学資金等の制度が実施されていること、地域の実情に応じた支援が行われていることが説明され、厚労省としても各種支援事業について情報共有を進めると回答。

3. 到達と課題

今回、前年度の要請を受けて看護師等養成所運営補助金の基準額が約 10%増額されたこと、修学支援新制度の執行率が約 8 割まで改善したこと、機関要件について医療法人等の「やむを得ない事情」に対する猶予措置があることなど、要請を積み重ねる中で一定の制度改善がされてきたことを確認した。

一方で、機関要件そのものの見直し、看護学科を対象とした支援の拡充、養成所運営補助金のさらなる増額、都道府県間の格差是正、実習交通費への公費支援などについては、具体的な制度化には至っていない。引き続き、学生・学校現場の実態を示しながら、国への要請を継続することが必要と考える。

なお、東葛看護専門学校副校長からは、奨学金を借りながらも返済への不安から使用せず貯金する学生や、実習交通費を節約するため片道 1 時間を汗だくで自転車で通う学生の実態が紹介された。

➡ニュース <https://kirarikango.com/news/news-8157/>

以上